



関市「ゼロカーボンシティ」宣言

近年、世界各地では、地球温暖化が原因とみられる、猛暑や豪雨などの異常気象による災害が増加しており、「気候危機」と言うべき状況です。本市もその例外ではなく、平成30年7月豪雨により甚大な被害を受けており、こうした被害から人々の生命・財産・社会インフラ・自然生態系などを守ることが求められています。

そのような中、2015年に合意されたパリ協定では「産業革命からの平均気温の上昇の幅を2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。また、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を2℃よりリスクの低い1.5℃に抑えるためには、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

関市の環境の将来像「自然と産業と伝統文化の調和した心豊かなまち せき～みんなで力をあわせてつくります～」を実現するために、市民・団体・事業者・市が連携し、地球温暖化対策意識を高め、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことを宣言します。

2022年2月9日

関市長 尾関 健治